

平成27年産果樹共済（りんご）支払共済金 15億6千万円

平成27年産りんごの損害評価高がまとまり、県全体での支払共済金は15億6千万円となりました（内訳は別表参照）。

共済金は、支払対象農家3,895戸に対し、各NOSA Iより2月16日から支払われます。

甚大な被害に対し、被災農家への1日も早い再生産に向けての経営支援のため、損害評価高を早急に取りまとめ、例年より10日ほど早い支払いとなります。

10億円を超える支払いは、平成に入ってから平成3年の台風19号による被害（支払共済金約45億円）、平成16年の台風4回の襲来による被害（支払共済金約17億6千万円）に次ぐ3番目に多い共済金となり、また、果樹共済が昭和49年産から実施されてからでも8番目に多い支払いとなります。

《被害発生状況》

平成27年産りんごでは、主な被害として雪害、病害、凍霜害、風害などの気象被害が発生しました。

特に、支払対象のほとんどが10月2日の爆弾低気圧及び10月8日の台風23号の強風による果実の落果及び樹上損傷（傷果）の被害であり、10月に2度にわたる強風により過去に例のない果実への損傷被害が発生しました。

【平成27年産りんご共済金支払状況】

組合名	引受方式	支払対象			被害率	
		戸数 (戸)	面積 (a)	共済金 (円)	戸数 (%)	金額 (%)
津軽広域	総合一般	30	3,340	20,007,500	/	/
	総合短縮	71	6,780	47,207,090		
	特定危険	1,431	127,904	936,873,610		
	計	1,532	138,024	1,004,088,200		
ひろさき 広域	総合一般	26	2,622	4,724,250	/	/
	総合短縮	29	1,985	5,282,640		
	特定危険	2,235	223,107	538,219,619		
	計	2,290	227,714	548,226,509		
南部地域	総合一般	1	49	77,520	/	/
	総合短縮	—	—	—		
	特定危険	72	5,811	8,248,610		
	計	73	5,860	8,326,130		
合計	総合一般	57	6,011	24,809,270	/	/
	総合短縮	100	8,765	52,489,730		
	特定危険	3,738	356,822	1,483,341,839		
	計	3,895	371,598	1,560,640,839		